

(令和3年3月試験研究業務月報)

試験研究課題：開発農地における新規作物の導入

研 究

開発農地に適する新規作物、加工用レタスの品種選定試験を実施

丹後開発農地においては加工契約野菜の生産が推進されています。そこでは、キャベツやカブなどのアブラナ科野菜が作付面積の95%を占め、根こぶ病等の連作障害が増加しつつあることから、アブラナ科以外の品目の検索が急務となっています。

そこで、当所では、換金作物の少ない6月に収穫でき、加工業者からの要望もある、春まきレタスに着目し、丹後地域に適応性のある品種を検討しています。結球性があり、つまり過ぎず、500g/球以上の球重が得られる、6品種を選定し、栽培試験を開始しました。

今後、4月上旬に定植し、生育調査を進め、6月には収穫調査を行い、丹後地域における適応性について評価を行います。



新型コロナウイルス対策を取り播種作業を実施している様子（3月2日）

農 林 セ ン タ ー（丹 後 農 業 研 究 所）